

下腿義足前面加圧採型法の試み

高田 幸孝、小川 修平、下村 慶太
〔川村義肢 株式会社〕

近年シリコンライナーの影響により下腿義足のソケット機能の向上は目を見張る物がある。それらを利用したソケットが普及しつつあり、その代表的な採型法として荷重採型法・IceCastがあげられる。これらの各採型法にはターゲットとする歩行周期がある。荷重採型法では立脚中期、IceCastでは遊脚期での断端形状を模倣した採型法であると言える。しかし歩行周期中に最も発生し易いトラブルは踵接地時における脛骨骨端の圧痛と考えられ、この骨端部の圧力はいかに良く適合したソケットにおいても解消は困難と考えられる。それならば断端を踵接地の状態で採型が出来ればトラブルは減少するのではないかと考えた。

そこで我々はシリコンライナーを使用する事を前提に前面加圧採型冶具を使用し、断端前面を踵接地時のソケット内の状態に再現することにより理想とする採型方法を考案し、その有用性について考察を行ったので報告する。